

会 議 結 果 報 告 書

- | | | | | | |
|---|-------|------------------------------|-----|-----|-----|
| 1 | 定例会 | | | | |
| 2 | 開会日時 | 令和元年 10 月 29 日（火）午後 1 時 | | | |
| 3 | 閉会日時 | 令和元年 10 月 29 日（火）午後 1 時 45 分 | | | |
| 4 | 出席者 | 教育長 委員 4 人 | | | |
| 5 | 議決件数 | 1 件 | | | |
| 6 | 議決の状況 | 原案可決 | 0 件 | 承認 | 1 件 |
| | | 一部修正可決 | 0 件 | 同意 | 0 件 |
| | | 継続審議 | 0 件 | 報告済 | 0 件 |
| 7 | 議事録 | 別添のとおり | | | |

教育委員会定例会議事録

1 会議年月日 令和元年10月29日(火)

2 招集の場所 府中北小学校 1F 会議室

3 出席者

教育長	高杉	良知
委員	坂田	眞澄
委員	田村	雅恵
委員	小濱	樹子
委員	上之園	公子

計 4人

4 議事日程

日程第1 議事録署名委員の指名

日程第2 教育長報告

日程第3 報告第16号 代理行為の承認について
「府中町文化財保護審議会委員の委嘱の解除について」

5 職務のため会議に出席した者

教育部長	榎並 隆浩	総務課長	長西 弘子
学校教育課長	土井 賢二	学校教育課主幹	畑尻 佳括
社会教育課長	山下 賢二	社会教育課主幹	渡邊 昭人
総務課長補佐	松林 亮	総務課総務係長	山王 真由美
総務課主任	野田 直子	総務課主事	沖本 美幸

6 議事の内容

(開議 午後1時)

教 育 長 それでは定刻になりました。出席委員が定足数に達しておりますので、ただいまから定例教育委員会会議を開催いたします。
本日の議事日程は、お手元に配付しているとおりでございますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

教 育 長 それでは、日程第1「議事録署名委員の指名」を行います。府中町教育委員会会議規則第18条第3項の規定により、私と坂田委員を指名することとしますが、よろしいですか。

(異議なし)

教 育 長 それでは、次にまいります。日程第2「教育長報告」を議題といたします。
○10月11日(金)全国町村教育長会第2回理事会について
全国町村教育長会の第2回目の理事会が10月11日、金曜日に行われました。役員の変更がありました。全国町村会の教育長会の会長がおやめになるということで、新しく広島県安芸太田町の二見教育長さんが会長になりました。これまで二見教育長さんは副会長だったので、その副会長のところを中国・四国から出して欲しいということがありました。岡山教育長さんが今、専務理事で出ておられるので、そこを副会長に上げることになり、新たな専務理事のところを、萩市で

鳥取県岩美町の寺西教育長さんがなられました。

それから、内容は本年度の研究大会の反省、それから各地域で行われている中国地区とか東北地区とかそういったところの研修会の状況についての報告、それから、来年度の事業計画、予算の概要について検討していくといったようなことがありました。そのほか表彰規定などを改正をしていくことについての提案があって、全て了承されました。その後、文科省から行政説明がありました。来年度に向けての予算編成をやっていますので、どのような予算を要求していくかという概要の報告がありました。大きいところと言うと、教職員定数の拡大、それから、教員配置に係る動向といったようなことについてありました。部活動の指導員を増やしていくとか、スクールカウンセラーを配置していくとか、あくまでも財務省に要求をしていくという段階のものですから、これが最終的にどこまでのものになってくるかというのはわかりません。また、働き方改革について、英語教育についても少し話がありました。教員をどう配置していくとか、将来的に教員を採用する時点で英語をどうしていくのかということですよ。それから養成の段階で英語教育というのをどういったように入れていくかといったような、もちろんそういう動きが既にあって、教員養成の段階から英語教育も視野に入れたような中身で小学校のほうで行っていくということと、試験の中にもどういう形で入れていくかとかいうような話もありました。それから、先端技術の活用についても、ICT環境の整備について、予算要求をしていくのですが、これもどこまで見てくれるかというのはちょっと厳しい状況かなというふうなところもありました。

○10月18日（水）府中中学校区公開研究会について

10月18日に府中中学校区の公開研究会がありました。それぞれのお立場で参加をしていただきまして、ありがとうございました。今年は府中中学校区が主に公開をしていて、来年は府中緑ヶ丘中学校区が主に公開をします。ただ、府中緑ヶ丘中学校区は公開をしないのだけでも、府中中央小学校で今回、3校が集まった授業研究を行うと聞いております。府中中学校区の公開研究会ですが、府中小学校で集まっていただきました。全体を見て回ったのですけれども、5、6年前とは授業の中身が変わったなと思っています。上之園先生にいろいろご指導いただいた成果も、少しずつ上がってきているのかなというふうに思います。中学校のほうも大分授業の中身が変わってきたかなというふうに思っています。それから、小・中連携を行うことの意義というのが、分科会でのいろいろな様子を見ると、大分定着してきたかなというふうに思っています。当初、この校種間連携をうたいながらいろいろとやってきた頃と比べると、先生方の意識も随分変わってきているなということを感じます。学力面だけではなくて、生徒指導面でも大きな成果が上がりつつあるのかなというふうに思っていて、引き続き力を入れていくべきではないかなと思っています。

それから、この小・中連携の中に、保育園・幼稚園の方が1名ですが、来てくださっていました。小・中の連携の中に、幼・保を入れて、もっと連携を大事にしていこうというようなことがあって、今年は幼稚園・保育園の園長先生に府中町の教育についてお話をさせてもらって、その時に是非こういう公開研究会があるので、一緒に見に来てくださいという案内をしました。相星指導主事が幼稚園を回った時に、公開研究会に是非来てくださいという案内をしていたこともあって、幼稚園・保育園の先生方が、自分たちが育てた子どもたちがどのように学校生活を送っているのかといったようなことを、見に来ていただくというのはとても意義のあることだなというふうにも思っていました。このままこの小・中連携を幼・保・小・中連携というふうに少しずつなってきたらいいのかなと思います。これもまたいろいろと行っていただいたので、感想など聞かせていただければと思います。

○10月19日（土）府中中央小学校 学習発表会について

10月19日、府中中央小学校の学習発表会がありました。初めて1年生から6年生までの発表を通して見させてもらいました。通して見るといいなというふうに思いました。特に、6年生を憧れの6年生という位置づけをして、校長先生自らこのところをすごく意識をしながら学校づくりをされているという、その成果が見

えているなというふうに思いました。縦割り活動もあるのですが、憧れの6年生ということを実に意識させて、違うなというのを子どもが自信を持って見せていたかなという感じがしました。5年生も来年に向けて6年生の姿を見て、「自分たちも負けないでやるぞ。」といったような感じになっているのかなと思いました。

○10月23日（水）第2回市町教育委員会教育長ミーティングについて

10月23日、市町の教育委員会教育長ミーティングというのがありました。これは年間2回行われるもので、参与が中心で来られます。県の教育委員会の参与という職がありまして、大体義務教育のほうの人がこの参与の職につくことが多いです。基本的には始まった頃は、教育委員会を支援するというところで、市町の教育委員会を支援する、いわゆる義務教育を所管しているところを支援していくということで、いろいろな情報をいただいたり、その情報をあげたり、市町のいろいろな状況をお伝えしたり、府中町からも4点ほど要望を入れたりしています。今回は、人事上のことが多くて、配置について要望しております。そのほか、キャリア教育のことについて、もうやり始めて20年ぐらいたっていて、今、府中町でいろいろな課題も出てきたりもしているので、これまでの成果・分析、そして今後の方向性みたいなものを検討はしてくださいといったようなこともあります。それから、働き方改革についても話をさせていただいております。参与のほうからは、来年度予算要求していく中身の報告があって、それから、府中中学校の授業を見に行かせてもらいました。1時間で見て回ろうと思うと1クラス大体3分ぐらいしか見られないのですよね。3、4分で見て回ったのですが、中学校全体としては以前と比べたら随分校長先生に一生懸命やってもらっているなというところが随所にあらわれていたなというふうに思うのですが、やっぱりまだ授業については温度差があるかなという感じも受けました。ただ、さすがに目当てはどのクラスもきちんと書いていました。

○10月26日（土）府中緑ヶ丘中学校 文化祭について

10月26日の緑ヶ丘中学校の文化祭がありました。坂田委員から聞かれて、私はわからなかったのですが、テーマが「アオハル」というんですね。「僕ら、僕らへの1ページ」。何のことかわからなくて、畑尻室長に聞いたら、「せいしゅんのことです。」と言われて、「ああそうなんだ。」と思いました。合唱の部とそれから全体の展示も見せていただきました。合唱は3年生のところからしか行けなかったのですが、いいクラスづくりを先生たちがされているのだらうなと思いました。最初、3年1組の「虹色の未来」これを聞いて、望月先生へのメッセージが、子どもからあったのですが、先生は下を向いて、涙がぼたぼた下に落ちて、泣いていて、そういう姿を見ると、本当に教員というのはすばらしい仕事だなということを改めて思いました。頑張ったら頑張っただけ子どもはきちんと返してくれるのだらうなということでもあります。本当にいい3年生、しっかりしたいいクラスづくりをされているなというふうなところでもあります。以上で、私からの報告を終わりますけれども、公開研であるとか各種発表会、文化祭について感想等あれば、学校のほうへお知らせをしたいと思いますので、よろしくお願いします。

坂田委員

それでは、9月25日、府中南小学校の参観に私と田村委員のほうで行きました。5年、6年生のドリームナビの授業を参観しました。株式会社櫟の代表取締役、兼田さんが来てお話されました。小さいころの夢をかなえるということで、お菓子作りですね。どんなお菓子を作ったら人に喜んでもらえるかを常に思い続けてやってきたということをお話されました。たくさんの失敗・苦労があったのだけれども、それを乗り越えて、今ここに来ているということです。バームクーヘンが売りで、その講演後、親子でグループになって感想を語り合う場面が例年どおりありました。保護者の参加は3割程度だったのですけれども、グループでの話の後、話し合った内容を代表の児童が発表、そして、保護者のほうにも数名に感想を言ってもらっていました。子どもたちが今持っている夢をどんな心構えでかなえていったら良いかのヒントになったように思います。子どもたちの様子ですけども、全体的には落ちているように見えたのですが、男子の数名の態度が無造作に先生が話されたあ

と、拍手をするなど少し気になりました。

9月27日、府中東小学校の参観日、私と田村委員のほうで行きました。どの学年も児童は落ちついて学んでいました。集中できない子はごくわずかでした。良かったのは、1年生の3クラスとも学習規律の定着が進んでいて、相手のほうを見て聞く、それから読む姿勢・書く姿勢のできている子が多かったです。本読みの場面では、どの子もリズム感よく読めるように、カスタネットを使って間をとってやっていました。それから、保護者のほうは、4年生の保護者を除いておしゃべりは少なく、ほとんどの保護者が教室に入って参観していました。廊下にイラスト入りの掲示物があって、今、授業をしているのでこういう見方をしてくださいという掲示をされていました。それから、3年生の保健の授業で、ペアトークをする場面があって、自分の書いていることを読むだけに終わっている子が多かったのですが、先生が言って話し合いのヒントとなる言葉がけをすることによって深まっていきました。教師がどういうふうに声かけするかによって、深まり方が変わってくるということをおもいました。

それから、9月30日、府中中学校のいきいき参観日のほうに、私と小濱委員と田村委員で行きました。一番気になったのは、その家庭科室や理科室の特別教室の授業で、その時とても暑かったので、中学校は特別教室での授業時間が多いため、予算に余裕があればエアコンの設置を検討して欲しいという話をしました。参観の様子なのですが、保護者は全部で十数名でした。また、来ていても中に入らず、廊下におられた方が多かったですね。働いている方も多いのでしょうか、時間に余裕がある方はもうちょっと気軽に来てもらうことはできないかなというふうに思いました。生徒のほうは、試験前日ということもあって、全体的には落ちついて学習に取り組んでいました。やはり、教育長さんが言われたように、指導力の差ですね。それによって授業の進み具合、中身が変わってくるのを感じました。全体をよく見て適切な発言・声かけをしている先生の授業は、やっぱり生徒も集中して学習が進んでいました。先生個々の指導力が全体的に上がる取り組みを、継続していく必要があるなと思いました。

それから、10月4日、金曜日に、学校教育課のほうからの依頼で1日園長、若竹保育園のほうへ行きました。さっき幼・保・小・中連携にもありましたが、そのことについて園長先生と話をしたのですが、若竹保育園では2月に府中南小学校へ年長児が行って、生活科の授業の中で交流をしているということでした。保育所のほうでは、年長児がスムーズに小学校になれるように、さまざまな取り組みをしているところを見せてもらいました。例えば、給食時間の配膳の仕方とか、決められた時間に食べ終わることをご指導されていました。それから、年中児まではお昼寝タイムがあるのだけれども、年長児はもうお昼寝はしないで、食後、読書などの時間をするということで、そういう食べた後をどうするかということをやられていました。それから、小学校入学時には、保育園からの連携で、個々の園児の性格について、しっかり伝えているということでした。今後も幼・保・小の連携を密に進めていく必要があると思われます。

それから、10月18日、府中中学校区の公開研究会で、授業者はどの授業も時間配分が適切で、導入からまとめまでスムーズに進められていました。板書もわかりやすく整理されたものとなっていました。それから、特に印象に残ったのは、指導者のはっきりした発音で、後ろの児童生徒までしっかり届いていて、それも表情豊かで、子どもたちを授業に引き込んで、一人一人をよく見て授業に取り組んでいて、大変良かったように思います。それから、児童生徒のほうも先生の発問にすぐ反応して、答えを出す・考える・話し合う・書くというふうにすごく良かったように思います。ただ、ちょっと1点気になったことが、研究報告の中で「資質・能力に関する児童生徒の意識調査について」があったわけですが、研究によってどのように変化したのかがわかるように、例えば、前年度との比較ですね。それとか、年度当初と半年後の比較とか、ここはこういうふうに伸びたとか、こういうことが変わったとかを強調されたらいいなと思いました。

それから、19日、府中中央小学校学習発表会ですけども、教育長も言われまし

たように、5、6年生はさすがということで、特に6年生ですね。気持ちを1つに、群読、合唱、それから合奏をやっておりました。これまでの練習の成果が出ていて、良かったように思いました。

それから、23日、水曜日ですね。これは委員4人が全員参加した、広島県市町教育委員会連合会の研修会に行ってきました。平川教育長講話の演題が「広島で学んで良かったと思える日本一の教育県の実現」ということで、大きく2つに分けて1点目が「広島県におけるこれまでの取り組み」、その中で印象に残ったのは、学校図書館のリニューアルをどんどん進めているという話をされました。それから2番目として、「広島県の教育が目指す方向性」ということで、多様な学びができるように選択肢を提供して、全ての児童生徒が主体的な学びができるようにということがありました。特に、不登校児童生徒については、教育支援センターや、それからフリースクール、大学、地域、企業などと連携を得て進めていく必要があるというふうに言われました。

それから、府中市立府中明郷学園のほうが発表されたのは、テーマは「コミュニティ・スクールでつくる社会にひらかれた教育課程」ということで話されました。学校とコミュニティ・スクールがつくる地域ということでも話されました。

それから、講演のほうは国立教育政策研究所の長田徹総括研究官が話されまして、演題が「社会にひらかれた教育課程の実現に向けて、共同から協働へ」ということで話されました。その中で、日本の子どもたちは学力が高いのに、学ぶ意欲が低い。その理由は何かということで、今、何のために児童生徒が勉強しているのか、今、学んでいることが将来にどう関連しているのか、その辺のところをしっかりと意識させた教育をしていかなければいけないということが印象に残りました。

最後に、府中緑ヶ丘中学校文化祭で、合唱しか見られなかったのですが、学年が上がるにつれて、声量があり、きれいなハーモニーとなっているので、3年間の積み上げができていますなと思いました。特に3年生、クラスが1つになって取り組んで来た合唱だったと思います。それから、始まりの合図があると、すぐパツと静かになって、日々の指導が身についているなと感じました。それから、校舎内外の環境整備が整っていて、大変良かったように思います。以上です。

田村委員

まず、10月18日の府中中学校区公開研究会は、授業をされる先生方の表情がとても明るくて、楽しく授業を進められているのが本当にすばらしいと思いました。私たちは当日行って見ただけですが、いろいろな子どもにわかりやすいようにビデオを見せたり、身近なジェットコースターからイメージをさせたり、そういうふうな授業づくりは本当に準備が大変だと思うので、そういうことは先生方で交流してやっていかれたらいいなと思いました。このときに、私の勤め先の桃山幼稚園の主任の先生が初めて見に来られたのですけれども、最初やっぱり戸惑っていらっちゃって、迷子状態になっていたので、途中で一緒に参りましょうということで回らせてもらったのだけでも、まだまだ気おくれされているところがあるので、フォローしていかないといけないなと思いました。

それから、府中中央小学校の学習発表会は、とにかく元気いっぱいたくさん元気いただきました。1年生の「サラダでげんき」、大体いつも1年生は、そういうふうな「りっちゃんのサラダ」をするのだけれども、おもしろかったのは、そのりっちゃんの教科書のサラダだけではなくて、いろいろなサラダを紹介してくれたのが嬉しくて、その食材の効能を劇の中でブロッコリーはこういう効能があるよとか、そういう形で学びながらの劇がすごくいいなと思って、私は知らなかったのだけれども、「なぜサラダなのか」、チコちゃんも出てきて、「野菜に塩をかけて食べるから塩のことなんだ。」と教えてもらって、「ああそうなんだ。」と思って、本当に1年生から学ばせていただきました。5、6年生は圧巻というか一体感と迫力がすごく立派で、低学年がこういう姿を見てあのようになりたいと憧れを抱くのだろうなと、そういういい雰囲気を作られているなというのがよくわかりました。

府中緑ヶ丘中学校の文化祭は、体育館の壁に「あなたの夢は何ですか。」というのが張ってあって、それを見たら結構、学校の先生のことをいろいろ言われるのだ

けど、学校の先生が多くて嬉しくて、あと保育士とか看護師とか、みんなすごい夢を持っているのだなと思って、でも片や、受験に合格するとか、テストの点数を上げるとか、確かに身近なそういうことも夢なのかなと思いました。3年生のどこが最優秀をとったかというのを坂田委員からお聞きして、私は一応、審査員のつもりでつけたのだけれども、ちょっと外れていたもので、私は審査員ができないかなというのをちょっと思いました。

あとの参観したのを申し上げます。坂田委員も話されたのですが、府中南小学校のドリームナビを聞かせていただいて、櫟のオーナーパティシエの兼田貴代さんのお菓子をOGOで売っているということで私は2回も買って、「先生おいしかったです。」ということを申し上げております。先生が「お菓子をつくるだけではなく、お客様にどうやったら喜んでもらえるか、わくわくしてもらえるかを常に考えている。」とおっしゃいました。自分本位のお菓子をつくるのではなくて、相手の立場からお菓子をつくるということがすばらしいなと思いました。また、病気になったり、いろいろおありになったりしたので、たくさん失敗したからちょっとの成功で感謝ができるんだよということをおっしゃいました。子どもたちもすごい感銘を受けたようで、1人でも多くの人を笑顔にしたいということがすばらしいよとかいう話も出たし、お母さん方からは子どもが夢を追いかける中で、今日の話が役に立てばいいなと思ったとか、お菓子に理念がのっているのだなと思ったというような感想がありました。

府中東小学校は、坂田委員がおっしゃったように、4年生以外の保護者は本当にマナーが良くて、すごく感動してしまったのですけれども、窓に張り紙を張って、見える化するというのはすごく大切なんだなと思って、教室に入って参観してねとか、廊下での私語はだめよとか、撮影はバツよというような、きちんと文書では示しているけれども、当日は忘れていることもあるので、やっぱり見えるところに張ってあげるとことは大切なかなと思って、今度はぜひ4年生の教室と廊下にも張って欲しいなというのを思いました。その後、PTA講演会でパーソナル食育トレーナーの森川寛之さんという方のお話がありまして、たくさん保護者が参加されていました。100人近い方が参加されていて、1つだけ印象に残ったのは、今言われているブルーライトは100%悪だよということで、スマホだけではなくてパソコン・テレビもそうなのだけれども、真っ暗な中でブルーライトに当たると、体温を下げてしまうので、絶対にしてはいけないということ、目から脳へそれが入って、脳が震えて、ストレスホルモンが出て緊張状態になって成長ホルモンが出ないということを聞いて、これは子どもだけではなくて大人もちょっと気をつけていけないといけないことだなというのを思いました。

府中中学校のいきいき参観日は、人数が少なく、いきいき参観日というのは、1年間で3回ぐらいなので、もうちょっとたくさん来ていただきたいので、そういう工夫ができたらと思いました。

それから、府中南小学校で防災キャンプが10月2日にあったのですけれども、そこで子どもたちがいろいろ体験をしたり、消防士の方のお話を聞いたりしていました。あるブースで竹の棒で毛布を敷いて人を運ぶというのを、子どもたちはすぐつくれたのですよね。それは運動会の競技の中で入れているから、もうつくり方がわかって、私は運動会で競技にそういうことを入れるのはいいことだと思っていたのですけれども、消防士の方が言われたのは、毛布に人を乗せて運ぶというのは安全につくって人を運ぶものである、競技でやるのはいかがなものかと言われて。競技だったら勝ちたいばかりなので、すごいとにかく安全とか関係なくて、急いで運びたがるし、競技中に子どもが落ちたりしたこともあるので、やっぱりそういうことを競技でやるのはいかがなものかというのを、消防士の方はおっしゃって、ああ、そうなのかなというのをちょっと思いました。

最後に余談ですが、9月中旬に赤木かん子さんが、熊野高校の図書館をリニューアルしているとおっしゃったので、ちょっと行ってみました。そうすると、ビフォーアフターで見させてもらったのだけれども、明るい空間であるとか本当にいろいろなコーナーがあって、人体の本とかいろいろ難しい専門的な本もかなり漫画が置

いてあって、生徒が読みやすく興味を持たせるような本もたくさんあって、コーナーもたくさんあって、本当に行きたくなるような、本当に入りたくなるような空間をされていたので、それをまた府中町の小・中学校でも役立てていきたいなというのを思いました。以上です。

小濱委員

では、府中中学校区の公開研究会についてですけど、私が一番すごく思ったのは、どの子たちも落ちついていて、しっかりよく聞けていて、すごく素直に授業に取り組んでいるなというので、この子たちすごいなというふうに思いました。あと、いろいろな研究発表なんか聞いていても、小・中連携がやっぱりすごく進んできているのだなというのをちょっと実感させてもらいました。授業の内容も変わってきているというのが、定着してきているなというのを思ったのですが、ここからどのようにやっていくかというものを、さらに学校だけではなくて、地域のいろいろな課題に取り組んだりとか、子どもたちが自ら興味関心をきちんと引き出して行って、そういうものと結びつけて課題に取り組んでいくような形をつくっていけるかなというのがこれからかなというのはちょっと思ったりもしながら、でも、変わってきたなと思って見させてもらいました。

それから、府中緑ヶ丘中学校の文化祭ですが、私は合唱を今まで全然聞けていなかったの、初めてちゃんと聞かせてもらったんですけど、本当に1年生もしっかりと歌えているなというのはすごく思いました。1年生、2年生、3年生へとどんどん上手になっていくので、将来は3年生みたいになるんだというふうな思いで1、2年も聞けるというのはやっぱりいいよねというふうに思いながら聞かせてもらいました。午後からのもちっと見させてもらったのですが、やはりすごく温かい形の発表が多くて、生徒会企画などでも去年もそうだったんですけど、先生に対して「ありがとうございました。」みたいな言葉が、本当は子どもたちのダンスを披露したりとか特技を披露するという今回テーマだったんですけど、そんな中で誕生日間近の先生とか、バレー部の顧問の先生とかに「ありがとうございました。」という子どもたちの声があったりして、すごく先生と子どもたちの間もいいのだろうなというのと、あとはやじではなくて、なんか温かい声かけをしてくれて、その壇上にいた子たちがすべらないような声かけを、会場にいる子たちがしているのがすごくいいなと思って見させてもらいました。

それから、先ほど坂田委員が言われたんですけど、教育委員の研修会のほうで、長田先生のお話はとてもおもしろくて、ピンチはすごくチャンスになるというのをいろいろな学校の例を挙げて言われていて、すごく荒れた学校をみんなで地域を含めて何とかしていこうという中で、すごくいい学校に変わってきたりとか、廃校になるんじゃないかというような学校を地域が絶対にそうさせたくないというので、魅力のある学校をつくっていこうということで、地域の人たちと一緒にやっていく中で、学校づくりをするというのでどんどん学校に来る人たちが増えてきたみたいな話を聞かせてもらって、やっぱり知恵を出し合っているいろいろやっていくといいものができていくのだなというのをすごく思いました。以上です。

上之園委員

府中中学校区の公開研究会ですけども、数年前までは本当に中学校区のまとまりというのはどうすればいいかと校長先生方が悩まれていましたが、もう小・中連携が当たり前というふうになっているというところで、全ての先生が1つのところに集まって一緒に研究をして、中学校区の目当てに向かって、授業やカリキュラムに反映させようというような研究会をすすめておられます。他の市町の小・中連携では、なかなか難しいところがある中で、とてもすばらしいと思いますし、小・中連携は毎年進んでいくだろうと思うので、今日、府中北小学校の校長先生が発表されたように、それぞれの学校の教育目標が学校の特徴となるので、そこを生かしながら中学校区として無理なく小・中連携を図っていくというような方法を見出していたらいいのではないかなというような感じがします。

それから、公開研究会は府中中学校区と府中緑ヶ丘中学校区は交代でされていて、公開研究会をしない年も、各小中学校で校内研修もきちんとしているし、中学校区

の勉強会もしていて、そして、公開研究会に両方の学校の先生たちが全員参加して、授業研究を継続できるようなやり方を考えた取り組みをされているのがいいなと感じました。以上です。

教 育 長 ありがとうございます。それでは、次に参りたいと思います。日程第3、報告第16号「代理行為の承認について（府中町文化財保護審議会委員の委嘱の解除について）」を議題といたしたいと思います。説明をお願いします。

教育部長 教育部長です。報告第16号、令和元年10月29日、代理行為の承認について、府中町文化財保護審議会委員の委嘱の解除について、教育長に対する事務委任規則第3条第1項の規定により代理したので、同条第2項の規定により報告し承認を求める。詳細な説明は、社会教育課主幹のほうから行います。

社会教育課主幹 社会教育課主幹です。沢元委員につきましては、平成28年度と平成29年度に私の前任として、下岡田遺跡の発掘調査を実施するなど、府中町の文化財行政にご尽力いただきました。また、下岡田遺跡調査にも深くかかわられ、府中町の文化財に関しても見識があるということで、今年度から府中町文化財保護審議会委員を委嘱したところでした。しかし、令和元年10月1日に病気により亡くなられたということでございます。61歳でございました。沢元委員には短い間でしたが、府中町の文化財行政に大変ご貢献いただいたということでございます。なお、後任の人選については、すぐに変わりの委員の選考ということは難しいということで、しばらく人選をしていきたいと思っております。以上でございます

教 育 長 とても残念なのですけれども、委員さんのご冥福をお祈りしたいと思います。何かご質問はありますか。

(なし)

教 育 長 それでは、ご質問がないようですので、日程第3、報告第16号については、原案のとおり承認いたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(異議なし)

教 育 長 ご異議ないようでございますので、報告第16号については、そのように決めます。以上で、本日の議事日程を全て終了いたしましたので、これをもって本日の会議を閉会といたします。

(閉議 午後1時45分)